

釜トンネル

釜トンネルは人里離れた上高地溪谷に車でアクセスする唯一の方法です。このトンネルの名前は、隣接する梓川の急流から立ち上る水しぶきが、煮え立つ大釜（カマ）から立ち上る湯気のようにと言われていることに由来します。

このトンネルは損傷から守るため定期的に構造の改修が行われていますが、土砂崩れや雪崩のためにしばしば閉鎖されます。このトンネルは 1927 年に最初に手作業で掘られ、主に電力産業用の運搬路として機能していました。1933 年に観光客に交通手段を提供するバスサービスが始まり、1935 年には路線が拡大されて上高地を含むようになりました。このことはこのエリアの国立公園指定に向けた重要な一歩でもありました。

このトンネルは 1937 年にさらに改修され、2005 年に現在のトンネルが開通するまで使用されてきました。このトンネルは狭く、急勾配で、途中に急カーブがあります。上高地を訪れる観光客により交通渋滞が増加したため、1975 年以降七月および八月に自家用車でこのトンネルを利用することが禁止されるようになりました。1996 年からはこの規制が通年適用されるようになりました。バスとタクシーはほぼ年間を通して通行を認められていますが、冬季にはこのトンネルはすべての車両に対して通行止めになります。この時期に上高地を訪れることを希望する人はトンネルを歩いて通り抜けなければなりません。